

議第108号

令和2年9月14日

羽島市自治委員会

会長 味岡 巖 様

羽島市議会議長 山田紘治



羽島市議会に対する公開質問状について（回答）

令和2年8月28日付け、羽島市自治委員会より提出のありました「羽島市議会に対する公開質問状」について、下記のとおり回答します。

記

【質問項目】

1. 岐阜県が管理する「新型コロナウイルス宿泊療養施設」に羽島市議会の議員数名が県の許可なく立ち入った件について

(1) 感染リスクを拡大させる恐れや風評被害を招かないよう配慮が必要であるにもかかわらず、県の許可なく立ち入ったことは極めて軽率な行為であったと考えるが、立ち入りした経緯及び目的は何であったのか明確な回答を求める。

このことについて、羽島市ホームページ「議会情報」の「市民の皆様へ」の中で、「住民に正確な情報伝える目的として立ち入り」とあるが、納得できる内容ではなく、全く理解できない。

【回答】

立ち入った経緯は、住民説明会の時に東入り口から西入り口に検討するというので、後日入り口が変更になり現地を確認に行きました。そこで

ホテル関係者の案内により施設内を見ました。

目的は、「住民に正確な情報を伝える目的で立ち入り」としたとする趣旨に間違いはなく、ご理解を頂きたいと思います。これからも市民に必要な調査研究は積極的に行い、今回の感染症対策のような、より正確な情報が求められるべき時には、真実を知り、市民の安心安全を最優先に、誤った「風評被害」などが発生しないよう、よりきめ細かい調査に心がけるよう努めます。

【質問項目】

(2) 施設管理上の配慮の点から報道規制、取材規制がされていたにもかかわらず、一部議員はなぜSNSに写真付きで投稿したのか。

【回答】

市民や収容されている患者さんにとっても、どのような施設で、どのような生活を過ごすのか、それを公開することが大切なことだと考えます。問題と指摘され、公開を控えています。施設内で詳しくホテル関係者から説明を受け、許可もいただき撮影しました。これからも市民からの問い合わせや質問があれば、知り得た貴重な情報をもとに正確な情報発信に努めます。感染対策に取り組む県や自治体へは、私たち議員はこれからも全力で協力していきます。

【質問項目】

(3) 立ち入った議員は、「全員協議会」で、当時の星野議長以下全員が謝罪したとあるが、同協議会で、発言した議員の申し立て内容は何であったのか。

【回答】

申し立て内容についての回答は、正確性を期するため令和2年4月24日開催の羽島市議会全員協議会議事録をご参照ください。

(令和2年4月24日全員協議会議事録の関係分を添付)

【質問項目】

(4) 8月1日付けで発行された「議会だより」において、この経緯について全く説明がされていないのはなぜか。

【回答】

ご提示された質問に関しては、6月8日及び6月18日に開催された広報広聴委員会の議事録に基づき回答させていただきます。また、回答の整合性、どのような協議が行われたのかなど詳細を示すために両日の委員会議事録を添付します。

さらに、回答作成にあたり、そのプロセスについても透明性を図るため、9月4日に開催された広報広聴委員会の議事録も合わせて添付します。

6月8日に開催された広報広聴委員会にて、宿泊療養施設立ち入りの経緯について「羽島市議会基本条例」に則り、広報広聴委員会として8月1日発行の議会だよりには、「今回の宿泊療養施設立ち入りの件を掲載してはどうか。」と委員長より提案がありました。

この提案に対し委員から、賛成意見として「ぜひ、議会だよりに載せていただきたい。」という旨の意見が2件。反対意見として「今まで不祥事を起こした人に対して議会だよりで載せたのか。事件を起こした人や、辞めた人でも。そういうことはあるのか。」などの意見が2件、また、どち

らでもいいという意見が1件ありました。

協議の結果、反対者の意見により、不祥事を起こした議員、あるいは事件を起こした議員について、過去に議会だよりに掲載したかどうか事務局が調べることとなりました。

(詳細は、別紙「令和2年6月8日広報広聴委員会」議事録関係分参照)

6月18日に開催された広報広聴委員会では、前回に引き続き協議がなされました。

冒頭、反対者の意見である、不祥事を起こした議員、あるいは事件を起こした議員は、過去に議会だよりに掲載したかどうかについて、事務局より、平成23年以降の議会だよりを確認したところ、掲載の例はないとの報告がなされました。

次に、事務局の報告を受けて、再度今回の一件について議会だよりに掲載するかどうか協議を行いました。

協議では、「前例がないので載せる必要はない。」や「前例がないようなことが今回起きているわけですので、載せるべき。」との意見があり、最終的には賛成意見を述べた委員が2名、反対意見を述べた委員が3名となり、不掲載と結論づけることとなりました。

(詳細は、別紙「令和2年6月18日広報広聴委員会」議事録関係分参照)

【質問項目】

(5) 市議会の「議会改革特別委員会」において、再発防止策の協議を行ったとあるが、同委員会でどのような話し合いがされたのか。

【回答】

議会改革特別委員会を、令和2年4月30日、5月8日に開催し再発防止策の協議を行いました。今回の事案は、施設管理者である県当局に確認許可を得ず、施設に立ち入りしたことが問題でありました。そのため、今まで議員活動の申し合わせ事項に施設管理者等の許可の定めがなく、今回これを申し合わせ事項に加え、議会改革特別委員会の再発防止策としました。

(詳細は、別紙「令和2年4月30日、5月8日議会改革特別委員会」議事録関係分参照)

【質問項目】

(6) 再発防止策として、「議員活動申し合わせ事項」に「議員又は会派の視察見学等に関しては、施設管理者等の許可を得るものとする。」を加えたところがあるが、「許可を得る」ことは社会通念上、当然のことであり、市民には全く理解できない。市議会として、再発防止策の説明責任をどのように果たすつもりか。

【回答】

今回の申し合わせ事項を明文化し全議員に徹底させることにより、再発防止に努めます。

【質問項目】

2. 5月の臨時議会について

(1) 市議会運営委員会は市執行部から議案の説明を受け、委員会付託の

省略と5月13日のみを会期とすることが議員間において決定された。それにもかかわらず、同日改選後の同委員会委員長及び一部議員が反対された理由は。

【回答】

羽島市新庁舎建設工事のうち、電気設備、機械設備及び地中熱設備に関する事業の変更契約の締結について、質疑は3人の議員が、反対討論は2人の議員が、それぞれ発言され、採決の結果、否決されました。反対討論の趣旨は、6月定例会に提出し委員会付託のうえ、十分な審査を行うべきとの意見でありました。

(令和2年5月13日臨時会会議録の関係分を添付)

【質問項目】

(2) 5月27日に開かれた臨時議会で、同一の議案にもかかわらず、一転、何の異議もなく可決されたのはなぜか。

【回答】

本会議では8人の議員の質疑があり、付託された総務委員会では5人の委員(委員長を除く全員)が21回の質疑をされ、1人の委員が3議案にそれぞれ賛成討論をされました。総務委員会では、十分に審議されたうえ、全委員が賛成、可決しました。再開後の本会議において、4人の議員が賛成討論を行い、十分な審議により、全議員の賛成で可決しました。

(令和2年5月27日臨時会会議録の関係分を添付)

(令和2年5月27日総務委員会議事録を添付)

【質問項目】

(3) 5月13日の臨時議会における議会の運営不行き届きにより、27日までの2週間に及ぶ市役所の業務の空転に対し、説明責任をどのように果たすつもりか。

【回答】

今回の臨時議会においては、議会の条例規則等に則って、適切に運営してまいりました。

その中で、皆様には、議会の運営不行き届き、業務の空転という誤解を招いたことに対しては大変遺憾に思います。これからも議会運営に関しまして、適切に運営してまいりますので、よろしくお願いいたします。

【質問項目】

3. 平成30年6月1日付けで当自治委員会が貴会に提出した要望書（羽島市議会における議員活動の活性化について）について

(1) 同要望書に対し、平成30年7月20日付け、議第40号で、当時の山田議長から回答書をいただいてから2年経過したが、今日までの効果検証を求める。

【回答】

羽島市議会は、市民から信頼される議会、活発な議会、二元代表制による適切な議会運営に努めるため「羽島市議会基本条例」を制定し、平成31年4月1日より施行しています。

市民から信頼される開かれた議会では、市民との意見交換会を平成30年「読みたくなる議会だより」、令和元年「魅力のあるまちづくり」をテ-

マとして開催しました。参加した市民の声では、参加しやすく定期的におこなってほしいという前向きな意見が多く寄せられました。コロナ禍のため今年度の開催は見合わせていますが、今後も継続していく予定をしています。現在、市民との意見交換会でいただいた声を参考にしながら各常任委員会で勉強会等を開催しており、今後も改善に努めていきます。

活発な議会においては、議員間自由討議を導入し、各常任委員会において議論を重ね、政策形成の向上に努めています。

二元代表制による適切な議会運営では、予算決算特別委員会を導入し、議会のチェック機能の強化を図っています。

議員定数削減については、市の状況と社会情勢を鑑みながら議会改革特別委員会で協議を継続させ、引き続き審議をしていきます。